



実需者から望まれる品質を目指そう! 生産量を維持し経営の安定化に取り組もう!

香川県産の小麦「さめきの夢2009」、はだか麦「イチバンボシ」は、3年連続の豊作や新型コロナウイルス感染症の影響等により、需要に対して供給が上回る状況が続いています。

JA香川県や県など関係機関が連携して需要拡大に取り組んでいるところですが、単年度での改善が困難な状況です。

生産者の皆様には、令和3年播きにおいて、「はだか麦の作付から小麦への転換」を図り、両麦で「作付の維持」をお願いするとともに、「排水対策の徹底」や「適期播種」などの基本技術の励行で単収の確保と高品質化を目指しましょう。

令和3年産麦(令和2年播き)の作柄状況と需給動向

令和3年産麦は、播種期が好天に恵まれたことから作付面積は前年産よりも拡大するとともに、収量は平年を上回り、3年連続の豊作となりました。一方、品質は収穫前となる5月初旬の風雨や例年より早い梅雨入りによって、一部で倒伏が発生するとともに変色等による品質低下がみられ、1等比率は「さめきの夢2009」で約30%、「イチバンボシ」で約48%となりました。

(1) さめきの夢2009

国産類用小麦として高値水準にあります。豊作により、集荷数量が購入希望数量及び販売予定数量を上回る結果となりました。

(2) イチバンボシ

実需者からは品質の良さを評価されています。豊作により、集荷数量が購入希望数量及び販売予定数量を上回る結果となりました。

銘柄	販売予定数量 (出荷契約時)	購入希望 数量①	検査数量(推定)			集荷数量③ 購入希望数量①	1等比率
			面積②	集荷数量③	単収③/②		
さめきの夢2009	6,630	3,706	2,132	8,828	414kg/10a	238.2%	約30%
イチバンボシ	2,281	1,473	823	2,617	318kg/10a	177.7%	約48%

販売予定数量:生産者の出荷契約面積をもとに昨年7月にJAから実需者に提示した数量。この数量±15%の数量までは通常契約の数量となる(アローワンス)。
購入希望数量:実需者からの購入希望を取りまとめ、昨年7月にJAに提示された数量

令和4年産麦(令和3年播き)の需給状況と生産方針

令和4年産麦の需給については、3年連続の豊作や新型コロナウイルス感染症の影響等により需要量に対して供給量が上回る状況が続いています。

令和4年産麦の販売予定数量と購入希望数量 (単位: ha、トン)

銘柄	販売予定数量 (出荷契約時)①	購入希望数量②	販売予定数量① 購入希望数量②	①-②差引き
さめきの夢2009	7,531	2,384	315.9%	5,147
イチバンボン	2,294	1,094	209.7%	1,200

この需給バランスを改善するためには、需要拡大が急務であることから、現在、JA香川県や県など関係機関が連携して需要拡大に取り組んでおり、取引先への取扱量の増加を要請するとともに、「さめきの夢」については、新たに使用を開始するうどん店等への小麦粉経費の助成や、乾麺、素麺、和・洋菓子などうどん以外の実需者に対し、新商品の開発を推進することで、需給バランスの改善を図ります。また、生産面では安定生産に必要な技術指導やはだか麦から小麦への麦種転換に対する種子代助成(※)など各種支援を行います。(※詳しくは、さめき水田堂農だより No.95をご覧ください)

生産者の皆様におかれましては、令和3年播き麦の作付けは、市場規模が小さく販売状況が厳しいはだか麦の作付けから小麦への転換をお願いしますとともに、両麦で面積を維持しつつ、今後も排水対策、適期播種、施肥、雑草防除等の「基本技術の励行」により、単収を確保し品質を向上させることで、畑作物の直接支払交付金(ゲタ)をはじめとする国・県の各種助成措置による収入を確保できるよう安定生産に努めましょう。

令和3年 播き麦の 生産方針

香川県産麦の産地としての安定・維持を図るため、

- はだか麦から小麦への転換を行う。
- 両麦で面積を維持し、安定生産を目指す。
- 適切な栽培管理で、全量1等を目指す。

令和3年播き麦のスローガン

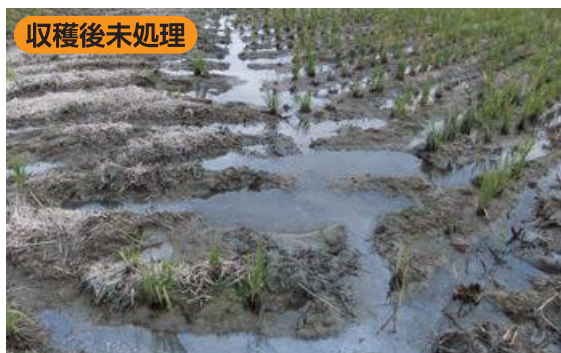
**実需者から望まれる品質を目指そう！
生産量を維持し経営の安定化に取り組もう！**

**基本技術の励行で単収の確保・品質向上を目指しましょう！
～麦づくりは水稻収穫直後から始まります！～**

播種前の排水対策

水稲収穫後のコンバインのわだちや旋回跡をそのままにしておくと降雨時に水がたまり、土壌が乾きにくくなります。水稲収穫後は、速やかに排水溝（明きよ）をほ場の畦周りやほ場内に設置し、落水口と確実に連結し、雨水がほ場内に停滞しないようにしましょう。

特に排水が悪いほ場では、サブソイラー（弾丸暗きよ）などで、雨水の地下浸透を促すとともに、スタブルカルチや浅耕処理により土壌表層の乾燥を促進すると効果的です。



コンバイン旋回跡



弾丸暗きよと施工後の暗きよ



スタブルカルチの施工



ほ場の畦周りに額縁明きよ(排水溝)設置

苦土石灰やケイカルなどで土づくり

作付面積の拡大に伴い、土づくりが疎かになり、土壌pHの低下等の原因による麦の生育不良ほ場が増加しています。

播種前に苦土石灰などの土壌改良剤を施用して土づくりを行います。なお、土づくりのため、稲わらやもみ殻は焼却せずにすき込みましょう。

原因

- ① pH低下による酸性障害
- ② 微量元素欠乏(過剰)による生理障害

対策

- ① 苦土石灰の施用
- ② ケイカル等の土づくり肥料の施用



低pHによる生育不良

適期播種で収量と品質の向上

播種早限になり、土壌水分が適正になったらすぐに播種作業が開始できるよう、機械・播種機の点検などの準備を進めておきましょう。

適期に播種することにより収量は多く、品質は良くなり、播種が遅れるほど、収量は減少し、品質は低下します。

また、裸黒穂病等の種子伝染性病害の発生を防ぐため、毎年、種子更新を行うとともに、播種前には種子消毒を実施しましょう。



裸黒穂病

小麦、はだか麦ともに

播種早限 → 11月10日 播種適期 → 11月15～25日

小麦栽培における新しい施肥法と新しい基肥一発肥料

令和2年産小麦の栽培しおりから、新しい施肥法「**基肥減肥・追肥重点体系**」と新しい基肥一発肥料「**さめきの夢一発**」が掲載されました。

①「基肥減肥・追肥重点体系」

従来の「基肥－追肥」体系よりも基肥の施用量を減らし、その減量相当分を1月上中旬に中間追肥に充てるとともに従来の2月下旬頃の追肥と合わせて「基肥－中間追肥－追肥」とする体系です。追肥の回数を2回に増やすことで、近年の暖冬傾向による生育期の肥料切れを防ぎ、穂数の確保や粒の充実向上による収量や品質の向上を目的とした施肥法です。

②新しい基肥一発肥料「さめきの夢一発」

従来の基肥一発肥料より速効性窒素量を減らし、緩効性窒素量を増やしています。「基肥減肥・追肥重点体系」と同様に、生育期の肥料切れを防止し、穂数の確保や充実度の向上による収量や品質の向上を目的としています。

※①、②の具体的な施肥量や追肥時期などの詳細は「令和4年産小麦の栽培しおり」を参照してください。

播種後の排水対策

うね盛板やサイドリッチャー、管理機を用いて速やかにほ場の畦周りも含めて排水溝を設置しましょう。また、排水溝同士や排水溝と落水口が連結されていないため、ほ場内に水が溜まってしまっているほ場も見られます。苦勞して設置した排水溝の効果を高めるため、排水溝同士や排水溝と落水口は確実に連結しましょう。



管理機による溝付け



排水溝と排水溝の連結



排水溝と落水口の連結



連結不足による滞水

初期除草剤で雑草を確実に抑える

麦の播種後は、確実に初期除草剤を散布して、雑草の発生を防ぎましょう。初期除草剤の効果を高めるため、散布はかけムラのないように行いに行います。初期除草剤の散布後に大雨が降ったり、散布が遅れるなどの原因で雑草が発生した場合には、雑草の種類や葉齢をしっかりと確認し、適期に中期除草剤を散布しましょう。



スズメノテッポウ



スズメノカタビラ



ノミノフスマ



ヤエムグラ



カラスノエンドウ



「おいでまい」シンボルマーク

県オリジナル水稲品種「おいでまい」について、 令和4年産の「おいでまい」栽培者を募集します!

「おいでまい」栽培者が守るべき主な事項

- (1) ライスグレーダーの篩目は、1.85mm以上を使用する。
- (2) 「おいでまい」の種子、苗が余った場合は適切に処分し、決して他者に譲渡しない。
自家採種もしない。
- (3) 販売を目的とした栽培とし、飯米のみでの消費を目的とした栽培や未検査米での出荷はしない。
- (4) 収穫した「おいでまい」については、農産物検査と食味分析を受け、その結果を報告する。

■ 綾川町の栽培者及び作付拡大地域のJAカントリーエレベータ出荷者

- ・綾川町の栽培者及び作付拡大地域のJAカントリーエレベータ出荷者は自動的に「おいでまい」栽培者として登録しますので、特に手続きは必要ありません。
- ・種苗の購入実績等の情報は、「おいでまい」委員会が別途JAから収集しますのでご了承ください。
- ・上記の「おいでまい」栽培者が守るべき事項を遵守した上での栽培をお願いします。

■ 倉前出荷者

○令和3年産「おいでまい」栽培者として登録されている方

令和4年産も継続して「おいでまい」を栽培する場合は、栽培者が守るべき事項と登録要件を満たしていれば、改めて書類を提出していただく必要はありません。

○令和4年産から新しく「おいでまい」の栽培を希望する方（倉前出荷の方）

栽培者が守るべき事項と登録要件を満たしていることをよく確認した上で、下記のとおり**栽培誓約書**をご提出ください。

① 募集期間 令和3年**10月11日**月 ~ 令和4年**1月31日**月

② 書類の入手方法

令和4年産「おいでまい」栽培実施要領、栽培者登録要領（「栽培誓約書」を含む。）等の必要書類は最寄りのJA香川県各地区営農センター及びふれあいセンターに準備しています。
（香川県ホームページ「さぬきの農産物応援団」、JA香川県ホームページからもダウンロード可）

③ 応募方法と栽培誓約書の提出先

令和4年産「おいでまい」栽培誓約書を作成し、最寄りのJA各地区営農センター又はふれあいセンターにご提出下さい。

倉前出荷者が令和4年産「おいでまい」栽培者として登録されるための主な要件

- (1) 乾燥機、籾摺り機、ライスグレーダー等の乾燥調製設備を装備していること。ただし、「おいでまい」栽培者に共同育苗及び乾燥、調整作業の他者への委託を行う場合はこの限りでない。
- (2) 令和3年産水稲の令和4年1月末までの農産物検査実績があること。ただし、令和3年産「おいでまい」栽培者は、令和4年1月末までの「おいでまい」の農産物検査実績があること。

詳しくは、JA窓口準備している「令和4年産『おいでまい』栽培者募集案内」をご覧ください。

★募集についてのお問い合わせ先★

- 「おいでまい」委員会事務局
（香川県農政水産部農業生産流通課 農産グループ）……………TEL：087-832-3418
- JA香川県（本店）営農部農産販売課……………TEL：087-818-4109

これから始める水稲栽培 vol.7



結果を楽しみにしていた
ジャンボタニシの防除効果!
パッチリです!(^^)!

つとむさん(56歳)

水稲栽培の初心者の皆様へ、いよいよ収穫に向けて、ラストスパート!!
最後の最後まで、気を緩めず、安全に管理しましょう。

7回目は、農作業安全です(経験談も)

※なにげない日々の農作業の中に、危険は潜んでいます。
これまでは普通に通っていたコンクリ畝畔や田んぼの
出入口、肩にかけたタオルにも思わぬ事故の可能性が
隠れています。

- ① 7月のある日、田んぼに水を入れるため、何気なくいつもの
コンクリ畝畔を歩き、下に降りようと田んぼの進入路に降りて
しまいました。
- ② 思わず斜めになっていたため、足首をひねってしてしまいま
した(かなり腫れ上がって、内出血もしています)。



昨年の8月13日



今年の8月22日

※近所の人からも褒めてもらいました。思わずモチベーションアップです(笑)。



- ③ 刈払機の事故も多くなっています。
★ 刈払機を使う際は特に以下の点に気
を付けましょう。
●ヘルメット、保護メ
ガネなどを必ず装着
し、点検を行ってか
ら作業をしましょう。
●小石などを除去し、
15m以内に人がい
ないか確認して作業
をしましょう。
●障害物や地面など
にぶつかって起きる刈
刃の跳ねに注意しま
しょう。



☆この6月に購入した愛機「赤い草刈(笑)」
【次号は刈払機の使い方】

ご参考に ~ハインリッヒの法則~

「ハインリッヒの法則」とは、“重大事故が1件発生する背景には29件の軽微な事故があり、その背景には300件の小さなヒヤリハットが存在する”といった労働災害上の経験則です。

農作業においても、この経験則に基づくと、事故の背景には無数のヒヤリハットが潜んでいます。

これらのヒヤリハットを少しでも減らしていけるよう、農作業による事故(熱中症も)の原因をしっかりと理解し、「安全」を心がけましょう。

「おいでまい」委員会からのお知らせ

第6回「おいでまい」品質・食味コンクールの開催について

「おいでまい」栽培者の皆様が丹精込めて作り上げた「おいでまい」から、最高の「おいでまい」を選びます。
上位入賞者には表彰状とともに豪華賞品を贈呈します。また、ご出品いただいた方に、食味分析結果と参加賞をお送りしますので、奮ってご参加ください!

出品方法

募集期間内に**玄米2kgと出品申込書**をご提出ください。

募集期間：令和3年10月11日(月)～11月10日(水)

申込先：最寄りのJA各地区営農センター企画農産課、JAふれあいセンター

※募集チラシ、出品申込書、玄米提出用袋はJA窓口にて用意しています。

出品時の主な注意事項

- ・出品料は徴収しませんが、出品物は返却しません。
- ・出品は1生産者につき1点で、令和3年産「おいでまい」に限ります。
- ・玄米水分が12%以下と16%以上の出品物は正確な分析ができないため、審査対象外となります。



【参考】R2年度コンクールチラシ

内容に関するお問い合わせ先

香川県農業協同組合中央会 総合対策部 総合対策課…………… TEL：087-825-2503

香川県農業協同組合 営農部 農産販売課…………… TEL：087-818-4109

香川県 農政水産部 農業生産流通課…………… TEL：087-832-3418

香川県農業再生協議会ホームページ…………… <https://www.saiseikyo-kagawa.jp/>